

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

**速報！10代のスポーツライフに関する調査報告書「青少年のスポーツライフ・データ 2015」**

# 東京オリンピック・パラリンピック「競技場での観戦希望率」は、 オリンピック 59.4%！ パラリンピック 37.1%！

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区赤坂 理事長：小野清子 以下：SSF）は、全国の10代の男女を対象にした『10代のスポーツライフに関する調査2015』を取りまとめました。今回は「運動・スポーツ実施レベル」などに加え、開催を5年後に控えた2020年東京オリンピック・パラリンピックを、どう捉えているかを把握するべく観戦希望などについて調査しました。

SSFでは、本調査を2002年から隔年で実施し、「実施頻度」、「実施時間」や「運動強度」から見た「運動・スポーツ実施レベル」をはじめ、スポーツ施設やスポーツボランティア、好きなスポーツ選手などわが国の10代の男女のスポーツライフの現状を明らかにしています。本調査結果をまとめた最新の報告書となる「青少年のスポーツライフ・データ 2015」は2016年3月に刊行予定です。

## ポイント

**1)東京オリンピック・パラリンピックの競技場での観戦希望率(※1)は、**
**オリンピック 59.4%**
**パラリンピック 37.1%**
**2)東京オリンピック・パラリンピックの競技会場で観戦したい種目(希望率)(※2)**
**■オリンピック(全体 n=1014)**

1位 サッカー	45.4%
2位 開会式	37.9%
3位 テニス	34.7%
4位 陸上競技	29.4%
5位 バレーボール	29.2%

**■パラリンピック(全体 n=631)**

1位 車いすテニス	45.6%
2位 車椅子バスケットボール	40.1%
3位 開会式	22.2%
4位 陸上競技	21.6%
5位 水泳	20.6%

※1 会場に出向いて直接観戦したいかどうかたずね、「そう思う」「ややそう思う」の回答を合計した値

※2 複数回答

**【担当者コメント】**

「2020年東京オリンピック・パラリンピックを直接スタジアムや体育館などの会場でみたいと思いませんか」とたずねたところ、10代の6割がオリンピックを、4割がパラリンピックを直接観戦したいと回答したことがわかった。また、観戦希望者に対し、観戦したい種目をたずねたところ、オリンピックでは「サッカー」(45.4%)が最も多く、「開会式」(37.9%)、「テニス」(37.4%)と続いた。

パラリンピックでは「車いすテニス」が45.6%と最も多く、次いで「車椅子バスケットボール」(40.1%)、「開会式」(22.2%)の順であった。今後継続的に調査を行い、10代の2020東京オリンピック・パラリンピックへの関心度に注目していきたい。【笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所 研究員 武長理栄】

**【調査概要】**

調査対象： 全国の市区町村に居住する10歳代の男女3,000人

調査方法： 訪問留置法による質問紙調査

地点数： 市部181、郡部19(計200地点)

調査時期： 2015年6月27日～7月31日 回収数(率)： 1,712(57.1%)

**◆この件に関するお問い合わせ先◆**
**笹川スポーツ財団 研究調査グループ 武長・藤原・山田・澁谷**
**TEL：03-5545-3303 data@ssf.or.jp**

すべての人にスポーツの楽しさを

 笹川スポーツ財団(SSF)は「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進している公益財団法人です。  
SSFは、ポータルサイトの寄付金による日本財団の助成を受けて活動しています。